

平成28年度 公共事業再評価(農業農村整備事業)

農地整備事業
(畑地帯担い手育成型)

矢部地区

交通基盤部 農地局 農地整備課

1 位置図／事業概要（事業の目的・事業内容）

位置図



事業の目的

- 生産性の向上と農地の集積・集約化の促進
 - ・急傾斜樹園地が大区画平坦化
 - ・畑地かんがいにより肥培管理が可能
- 非農用地（市道用地等）の創出

事業概要

施工箇所：静岡市清水区北矢部
 受益面積：66.3ha（受益者243名）
 工期：平成13年度～平成31年度
 事業費：4,394百万円
 事業内容：

区画整理工	66.3ha
畑地かんがい	66.3ha
暗渠排水	66.3ha
農地保全	66.3ha

【視点1】事業の必要性等（その1）

(1) 事業を巡る社会情勢等の変化

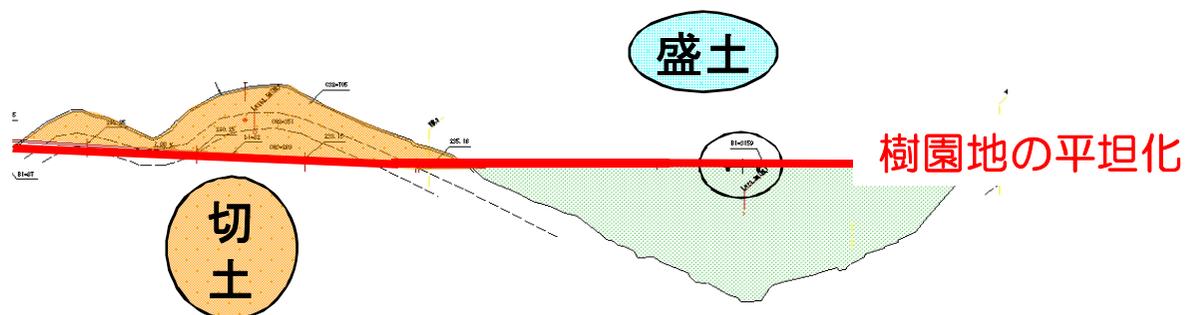
- ・ TPP等による国内外の産地間競争の激化
- ・ みかん価格の低迷克服に向けた生産コストの縮減
- ・ 「はるみ」「不知火」などの高収益品種への改植によるブランド化の推進
- ・ 急傾斜樹園地を平坦化することにより、担い手農家への集積・集約化の促進が見込まれる
- ・ 先進的な営農による産地形成への期待



急傾斜樹園地



大区画平坦化



はるみ



不知火



せとか



営農の省力化

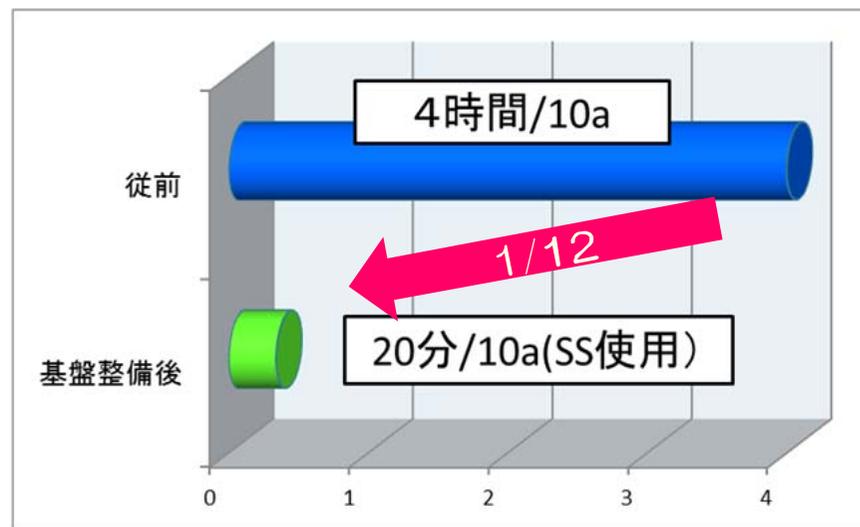
労力の軽減～防除～

JAしみず管内平均と区画整理実施地区（原・新丹谷）
聞取調査

急傾斜地
重労働



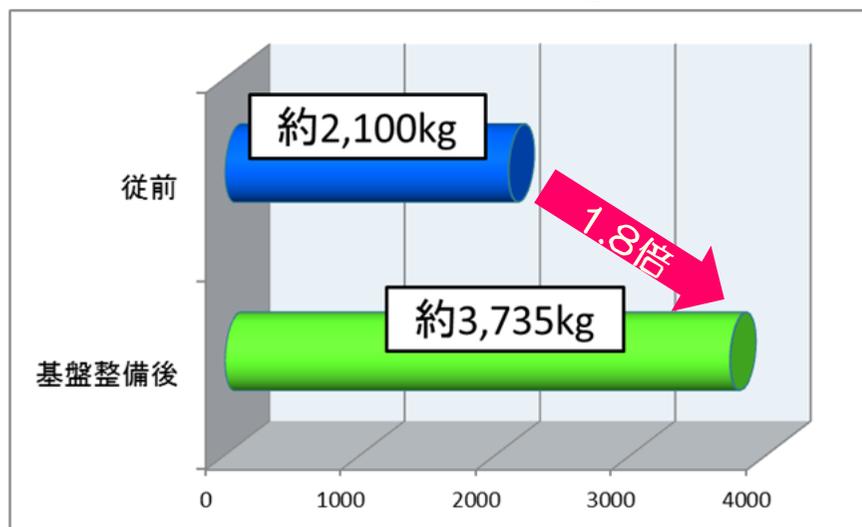
平坦大区画農地
機械利用可能



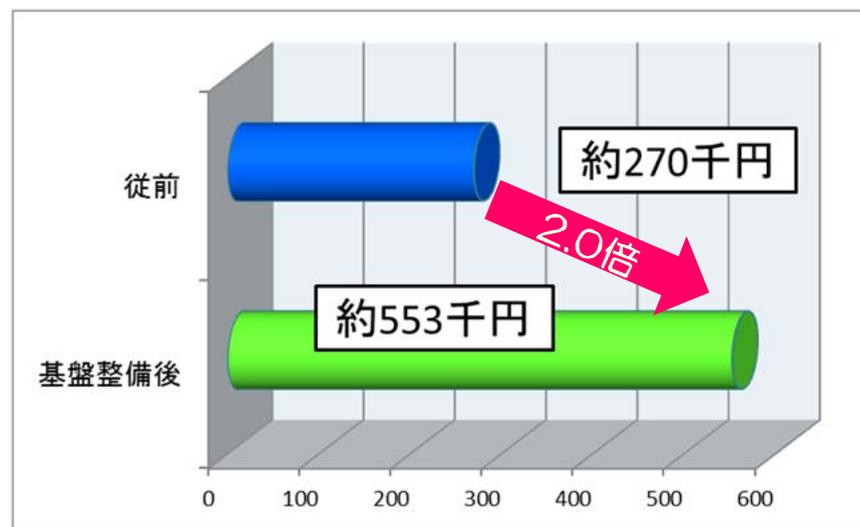
生産量と収益

JAしみず管内平均と区画整理実施地区（原・新丹谷）聞取調査

10aあたりの生産量の変化 (kg/10a)



10aあたりの収益の変化 (千円/10a)



【視点1】事業の必要性等（その2）

（2）事業の投資効果

総便益(B) 64.82億円

総費用(C) 56.10億円

総費用総便益比

今回(H28) B/C=1.16

前回(H23) B/C=1.10

担い手(14名)への農地利用集積

※地区内受益者243名、受益面積66.3ha

	事業前		計画
①集積面積	14.4ha	→	23.2ha
②担い手シェア	21.7%	→	35.0%
③集積増加率	—		61.5%

（3）事業の進捗状況（平成28年度まで）

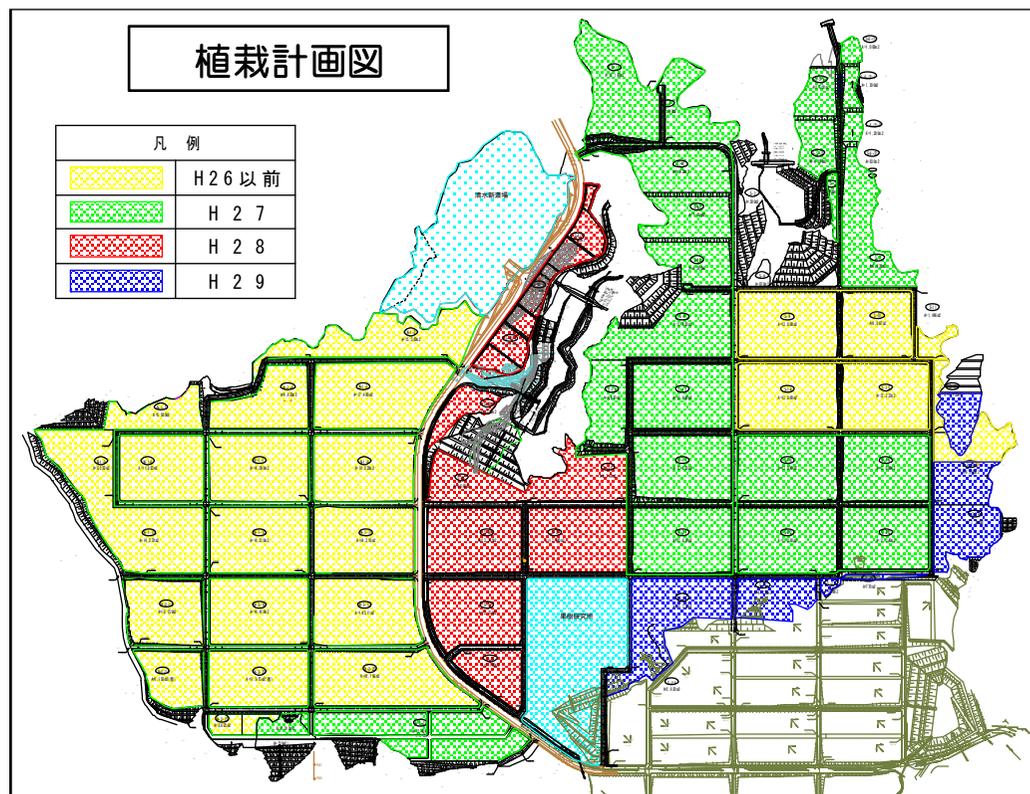
事業費進捗率：78.1%

事業量進捗率：89.9%



【視点2】 今後の事業の進捗見込み

- ・平成28年度末で約9割の区画整理が完了
- ・非農用地の計画見直し及び境界確定に時間を要したが調整済
⇒ 今後は順調な事業進捗が見込まれる
- ・平成29年度末には全ての区画で植栽される見込み



非農用地には斎場も建設中



平成27年度完成区画も植栽済



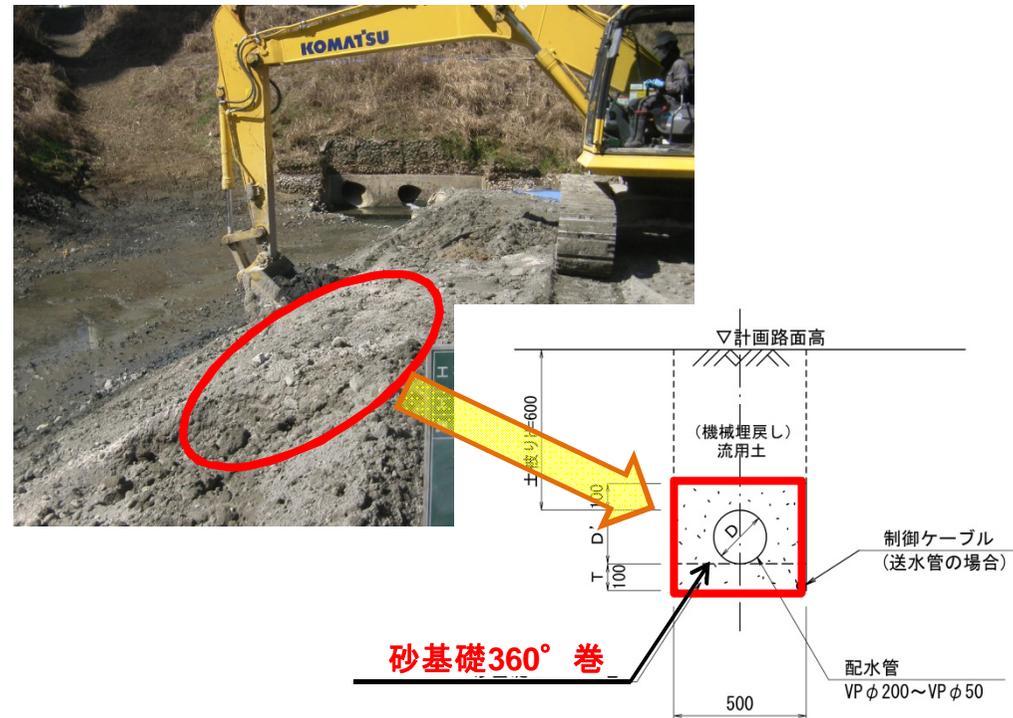
【視点3】コスト縮減・代替案立案等の可能性

- ・ 市工事の建設発生土を基盤土として受け入れ縮減を図る
- ・ 用水管の基礎砂として、調整池の浚渫で発生した砂質土を使用しコストの縮減を図る。

工事中の市道北矢部日本平線



調整池浚渫土の基礎砂活用



対応方針（案）

- 本地区は県の基幹作物である「柑橘」の産地として確立しており、受益者の営農意欲は非常に高く、早期完了を熱望
- 中部横断自動車道等の新たな交通網との連携により、都市農村交流を促進し、新しいビジネスの創造など地域全体の活性化に取り組む



本事業を継続し早期完成を図る

新しいビジネスとして
みかんオーナー制度などに取り組む



景観保全検討会を実施
景観に配慮した色彩を検討



従来の青い
防風ネット

景観に配慮
した茶色の
防風ネット

